

報道関係者 各位

2022 年 3 月 24 日

ATC では 2025 年大阪・関西万博を応援する 万博開催日までのカウントダウンとニュース情報の発信を開始します！

大阪ベイエリアの南港・咲洲地区にある大型複合施設 ATC（アジア太平洋トレードセンター株式会社）は、2025 年、隣接する夢洲において開催される大阪・関西万博の機運を醸成するため、2022 年 4 月 1 日から万博開催日までのカウントダウンと関連するニュース等を大型モニターにて発信していきます。

2022 年 4 月 1 日から大型モニターでカウントダウンスタート！



(画面サイズ：W 約 3.4m×H 約 2.0m・画像はイメージです)



2021 年 10 月 1 日より UAE（アラブ首長国連邦）ドバイにおいて開催中の「2020 年ドバイ国際博覧会」は、2022 年 3 月 31 日にフィナーレを迎えます。次は、いよいよ「2025 年日本国際博覧会」大阪・関西万博が 2025 年 4 月 13 日から 2025 年 10 月 13 日まで開催されます。

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」やコンセプトの「未来社会の実験場」は、当社が取り組む SDGs に繋がる環境や福祉・介護ビジネス等の産業振興活動や、先端テクノロジー分野での ATC ビル（大型複合施設）全体を活用した実証実験支援など、共通点が多く、これまでも関連するセミナーやイベントを多数開催してまいりました。

万博開催まで約 3 年と迫ったこのタイミングで、カウントダウンとニュース配信をスタートするとともに、ますます当社の万博に関連する取り組みを加速させていきます。

■場 所：ATC ビル I TM棟 2 階 総合案内所前

■開 始 日：2022 年 4 月 1 日（金）

■補 足：万博のカウントダウンとニュース配信の他、ATC の産業振興施設の紹介やイベント・セミナーの情報等も発信しております。

問合せ先	アジア太平洋トレードセンター株式会社 広報企画室 福井 崇之 TEL.080-4065-4048 E-mail : t-fukui@atc-co.com 田中真由美 TEL.06-6615-5230 E-mail : m-tanaka@atc-co.com
-------------	--

ATC の万博に関連する取り組み抜粋（参考）

■大阪・咲州（さきしま）から万博につなげる 100 プロジェクト

<https://atc-co.net/cms-business-gateway/100pro/>

2025 年に開催される大阪・関西万博を契機とし、様々な企業が ATC と協業で、100 件のプロジェクトを創出します。

*現時点で 21 件掲載中

* TEAM EXPO 2025 プログラム共創パートナー活動



■Kids tech EXPO（キッズテックエキスポ）

<https://kids-project.jp/kte/>

子どもたちがこれからの時代に必要なスキルであるテクノロジーを知り、使いこなすための学びと体験ができるイベントです。

（開催：2022 年 2 月 26 日・27 日）*2019 年より毎年開催

プログラミングや電子工作などのワークショップや、ロボット等のテクノロジーに触れ、少し先の未来を体験できる展示も行っています。



■ATC INNOVATION WEEK～これからの命のためにできること～

<https://www.atc-co.com/innovation-week/>

「SDG s の課題を先端技術で解決する」をテーマにセミナーやデモンストレーション等を行うイベントを開催。

（開催：2021 年 12 月 8 日～12 日）

「大阪・関西万博発、空飛ぶクルマの社会実装への挑戦」

と題したセミナーや 5 G 活用事例のデモを通じ、未来の技術を体感するイベント等を実施しました。



■咲洲子ども EXPO～Think SDGs 笑顔がつながる、未来をつくる～

<https://www.atc-co.com/kodomo-expo2021/>

地域の企業・学校・行政が一体となり、子どものチャレンジを応援するプログラムを集めたイベント。

（開催：2021 年 11 月 13 日・14 日）*2013 年より毎年開催

次代を担う子ども達が遊び・体験する中から想像力を育み学ぶ、SDG s を考える、そんなプログラムが多数集まります。



■ATC 海洋 WEEK～これからの命のためにできること～

<https://www.atc-co.com/kaiyou-week/>

海洋プラスチックゴミ問題をテーマとしたイベントを開催。

（開催：2021 年 3 月 17 日～21 日）

海のゴミを拾い、その中の海洋プラスチックを使って万華鏡を作るワークショップの他、「大阪の海について学び、考え、行動する。」きっかけとなるセミナーや展示を行いました。

